

# 愛知スキー協通信

No.265

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp (月1回発行)

http://aichiskykyou.yukigesho.com/

2017年 3月 1日

TEL052-201-4801 (Fax 共)



編集クラブ：シラメン & サザンクロス

## 第19回東海ブロック スノーフェスティバル

(2017/1/27~29 平湯温泉スキー場)

2日間にわたって「平湯温泉スキー場」にて行われた「第19回東海ブロック スノーフェスティバル」の様子を各コース別に報告します。

### スキー教室の報告

責任者：東指導員（愛知）

1月28日 午前9時30分 開会式 クラス分け 午前2時間、午後2時間

上級クラス1組 6人（永野指導員）

上級クラス2組 5人（佐藤指導員）

中級クラス 4人（丹羽指導員）

初級クラス 3人（東ま指導員）

子どもクラス 6人（米村指導員、神山指導員）

保育クラス 1人（東な指導員）

1月29日 午前9時30分~2時間

上中初級クラス 6人（佐藤指導員）

初心者クラス 1人（東ま指導員）

子どもクラス 2人（東み指導員）



#### (参加者の感想から)

両日スキー教室、教室で上達できた。競技にそなえてクラウチングを練習、上達できた。

小学生女子、スキー教室で友達ができた、一緒に滑って楽しかった。

保育してもらった6歳の子が初めてリフトに乗り、滑れるようになりました。

スキー教室と競技、何か一つ上達できた。

スキー教室、2日違う指導員でよかった。同じ指導員だと同じ指摘をされ、申し訳ない。

スキー教室と競技、前傾が分かってきた。スキー教室と競技、丁寧に教えてもらった。

スキー教室、課題を持って練習して良かった。スキー教室、少しくまくなれて良かった。

### スノーシューコースの報告

責任者：神戸 和之（静岡）

今回は28日の午前中に新穂高ロープウェイの鍋平、29日に平湯の森散策の2コースです。



28日は朝から雲一つない絶好の天気になりました。バスで新穂高ロープウェイ乗り場に行くとするに10台ほどのバスが止まっていて、多くの中国系？の観光客が来ていました。天気が良いので第2ロープウェイに乗りたかったのですが、人が多くどうしようか迷いました。しかし、めったにない晴天なので上まで行く券を購入して、まずは鍋平まで上がっていきます。鍋平では若い女性ガイドと雪の上を歩き出しました。雪は粉雪ではなかったですが、快晴の空の下、風

もなく、誰も踏んでいない雪の上を歩くのは気持ちがいいものです。笠ヶ岳はもちろん剣岳も良く見えました。約2時間ほどの雪中ウォークの後は急いで第2ロープウェイに乗って展望台に急ぎました。雪の中の360度の景色は何とも言えず素晴らしい景色でした。

29日はガイドと平湯の森散策です、平湯温泉スキー場のすぐ横で、競技会のタイムの放送を聞きながら、林の中をゆっくりと歩いてウサギやムササビの足跡を観察などしました。その後、平湯大滝まで往復した後はガイドの佐野さんの作るおいしい蕎麦を食べに行き解散となりました。

## ネイチャースキーの報告

責任者：加藤 真理子（愛知）

板の裏にうろこが彫ってあるテレマークスキーを使って坂道も歩ける森の散策をしました。今年は平湯大滝を間近に見えるところまでスキーで歩いていきました。滝は半分くらい凍っていました。なかなか大きな滝でした。午後は雪に覆われた木立の中のキャンプ歩き回ったり滑ったり、樹木の名前や動物の活動の話などを見聞きし学習をしました。

お昼は雪の上で用意してきたラーメンとぜんざいなどを作っていただきました。参加者は地元のガイドさんを含め8名で行動しました。その内4名はテレマークスキーがほぼ初心者で、初めての体験ということで楽しんでもらえたようです。今年も昨年に続いて天気に恵まれてよかったです。スキーは自然相手の活動、極寒の季節なので、遠出もしたいな(例えば上高地とか新穂高など)とも思うのですが、コース選びもむづかしいところです。

## おもしろ競技会

責任者：寺田 康男（愛知）

去年は、カップ落としSLでしたので、そのリメイク版で企画しました。昨年と違えたのは、膝の間にお菓子のカプリコーンを挟み落とさない事を完走の条件にしました。いさぎよくカップを捨てて、ストレートにコースを攻めた人が勝つだろうことを考えたコースセットをお願いしたつもりでした。あんのじょう8番走者のかなえちゃん以降は、カップにこだわらずに攻めるのが主流になりました。が、最後に残った4人は両脚でカプリコーンを落とさずにブレーキングをどうするかを考えているようでした。その成果は、かんちゃんが8位に入賞し大変おもしろい結果のおもしろ競技会になりました。

来年は、もっとおもしろいものにしたいと思っていますので、是非、皆さんのおもしろい思いつきやひらめきをお寄せ下さい!!!

2017年おもしろ競技会成績表（HCHカップ置きスラローム）						
順位	競技者名	滑走タイム	ペナルティタイム	トータルタイム	滑走順	備考
1	てらだ しおり	8秒67	6秒	14秒67	9	優勝
2	なかむら たかひさ	8秒74	6秒	14秒74	17	入賞
3	よしざわ はるか	9秒00	6秒	15秒00	16	入賞
4	わたなべ はじめ	9秒11	6秒	15秒11	12	入賞
5	あらかわ ゆうや	16秒41	0秒	16秒41	21	入賞
6	ながせ だいすけ	10秒87	6秒	16秒87	11	リマーク
7	すすき かなえ	12秒47	6秒	18秒47	8	入賞
8	かとう かなえ	18秒58	0秒	18秒58	19	敢闘賞
9	かとう もとき	20秒52	0秒	20秒52	20	
10	あさい ちえ	16秒87	6秒	22秒87	13	
11	かとう かずえ	32秒84	0秒	32秒84	10	
12	いわい ちえみ	30秒58	3秒	33秒58	1	
13	かとう りの	30秒81	3秒	33秒81	4	
14	かとう しん	28秒85	6秒	34秒85	2	
15	みずたに ここね	43秒32	0秒	43秒32	3	
16	やぎ かよこ	1分01秒56	0秒	1分01秒56	18	
17	かとう るり	1分50秒51	0秒	1分50秒51	5	
18	こんどう	2分39秒02	0秒	2分39秒02	7	
19	たかぎ かいと	DQ			6	失格
19	みやた くにこ	DQ			14	失格
19	あんどう ようこ	DQ			15	失格

## 素晴らしかった競技会

責任者：澤田 安利（愛知）

おもしろ競技会で計測が作動せず、三宅両氏の奮闘により原因を究明、必要な物を調達し復活。晴天に恵まれ、80名を越す参加者みな気持ちよく滑ることができました。コースは、セッター金田裕さんをお願いし緩めのターンで誰でも完走できるようにセットをお願いしました。スピードも程よく出て転倒なども少なくよい大会ができました。

準備は、積極的に仕事をかって出てくれる方、慣れた仕事を進め的確に指示をしてくれる方、皆様の協力で早く準備できました。これも全員役員で準備する仕方が理解されてきたと思います。競技中の役員もただ滑るだけでなく、役員をすることでどんなふうに競技会が成り立っているかが分かる、滑りやタイムなどを見てスキー技術を理解するなどをスムーズな運営とともに狙っています。大変スムーズな運営だったと思います。



天候のよさも手伝ったことありますが、今までで一番楽しかったという声も聴きました。雪煙によるや光电管のずれによる再スタートがありました。対策を考えます。ワールドカップのような青いラインを引いてコースがしっかり分かるようにしたいのですが今一つでした。よりよい方法を考えます。連続写真も今後の技術向上に役立ったと思います。写真を見てはフォームのチェックをしています。

皆様の協力により大会が成功したことに感謝します。何より一人のけが人も出なかったことが一番です。賞品をゲットした笑顔が何よりでした。

## 2017 東海ブロック競技会 第2戦のお知らせ

3/12スノーフェスタの競技会第1戦に続き、東海ブロック競技会の第2戦を行います

種目 3月11日(土) 回転競技(2本) 練習後・ベストタイム制  
12日(日) 大回転競技(2本) ベストタイム制

※スキー・スノボ・テレマークの部門があります

会場 野麦峠スキー場 トレーニングバーン

参加費 4,000円(競技会のみ、宿泊費・交通費別)

※応援、フリースキーでの参加も大歓迎します。申し込み、詳細については澤田競技部長へお願いします(携帯 090-2180-8644)。

スノーフェスティバルの写真を紹介します。



中村館の朝食風景



開会式の様子



山スキー



競技会スタート前

## 技術委員会からのお知らせ

3/25・26 東海ブロック後期技術委員会 (長野・野麦峠スキー場)

ブロック技術委員の力量向上の場と位置づけ、重点対象はブロック技術委員です。指導法の確認、実践報告、提言を集約する場です。指導力を上げたい人は参加できます(研修実技・STT)。

※申し込み、詳細については東雅夫技術部長へ(携帯090-7300-2024)

# 山スキーリーダ 5人誕生

2017年2月 大城記

1月7～9日乗鞍での山スキーリーダ養成検定に於いて、ぶなの木スキークラブから受験者全員が合格し、「山スキーリーダ」の資格を得ることができました。

メンバーは川角、前田、経塚、渡辺、大城の5名です。すでに山スキーリーダの浅井さんを含めて、安全に楽しくクラブの行事を進めていきたいと願っています。

先立つこと、2016年11月5日に滋賀県東近江市で4名の講師から座学を受講しました。「山スキーリーダ論」「民主スポーツ論」「気象」「読図」「救急法」等ですが、どれも重い内容で1日の講義で理解することは到底できず、これからも勉強となります。

乗鞍での実地訓練はテント生活もあり、なかなか興味深く、いい経験となりました。



1日目、雪上での救急搬出訓練は川角、前田、大城の担当です。担当で事前に計画を立てて本番で披露する形です。

スキー、スコップ、ツェルト、ザック、ザイルでそりを組み立て、けが人を搬送します。雪上で実際に人を乗せて運ぶと安定せず、改良の余地がありました。その日の夜は救急治療、三角巾の使い方等のレクチャーを受けました。

2日目、いよいよ山に登ります。三本滝リフト終点の2000m付近から2250mまで、テント、食料、寝袋等で10kg程度を担ぎ、スキーにシール付けて登っていきます。講師と受講者を含めてテント2張り10名のパーティです。3時ごろ到着して早々にテントを張って夕食の準備です。食材担当の経塚さんのメニューは「赤から鍋」で、お酒も入り大いに盛り上がりました。晩方から朝まで雪が降り続き、テントに積もった雪を払いながら、以外にも温かい就寝でした。

3日目、晴れ、微風、新雪です。初日の救急搬送に改良を加えて再度訓練です。その後テントを撤収して下山、10kgの荷物とファーストトラック新雪滑降。まさに山スキー訓練に最適です。三本滝上の急斜面もゆっくりであるけれど誰一人転倒することなく下山し、まだリフト営業前のファーストトラックを全員で滑って養成講座が終了しました。

合格の基準はよくわかりません。新雪急斜面でも荷物を担いで安定したスキー操作ができた。テント生活、救出訓練で協調して作業ができた事かもしれませんが、これからは安全を一番に考え、山スキーの幅広い技術の習得の必要である、と強く思っています。

## 全国スキー協会員向けアンケートのお願い

全国スキー協では組織の現状を正確に把握するとともに、これからのスキー協運動の方向性を考えるために、組織結成以来初めてとなる全会員を対象にしたアンケートを実施します。対象は全会員です。

愛知スキー協通信No.269に同封のアンケート用紙に記入していただき、各クラブの役員またはスキー協の役員・理事にお渡しください。用紙は愛知スキー協会のホームページからもダウンロードできます（PDF版・EXCEL版）。

アンケート送付先

FAX

052-201-4801（スポーツ連盟愛知）

メール添付

EXCEL版をダウンロードし、記入・チェックボックスへのチェック後、愛知スキー協会のメールアドレスへ添付して送付してください。

用紙に記入後、スキャンしてメール添付し送付していただいても結構です。

<http://aichiskykyou.yukigesho.com/>

e-mail: [aichiskikyokai@yahoo.co.jp](mailto:aichiskikyokai@yahoo.co.jp)